



2021年9月1日

## 再生可能エネルギーファンド運営会社「Z エナジー株式会社」への出資について

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一）が設立した「Z エナジー株式会社」に対し出資いたしましたので、下記のとおり、お知らせします。

同社は、再生可能エネルギーに投資するファンドの創設に向け設立されたものであり、本ファンド設立の意向に賛同した当行を含むパートナー企業9社が、出資とともに本ファンドの設立、運営の支援を担います。

当行は、今後も気候変動対応を含む環境課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 記

#### 1 出資先企業の概要

企業名	Z エナジー株式会社
設立日（出資日）	2021年9月1日
代表取締役社長	安岡 克己
設立時資本金 （含む資本準備金）	2億円
株主名 （五十音順）	【コアパートナー*1】 NTT アノードエナジー株式会社、大阪ガス株式会社、株式会社三菱 UFJ 銀行 【パートナー*2】 株式会社常陽銀行、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社百五銀行、 三菱重工業株式会社、株式会社三菱総合研究所、株式会社ゆうちょ銀行
事業内容	再生可能エネルギーファンドの設立、事業運営
出資額	非公表

\*1 新会社およびファンド全体の統括を牽引し、社会課題の解決、ファンド出資者に対する利益還元および説明責任を担う役割。

\*2 ファンド全体の運営に携わり、社会課題の解決、ファンド出資者に対する利益還元および説明責任を担うコアパートナーを能動的に支援する役割。

#### 2 出資目的

同社が運営するファンドでは、再生可能エネルギー電力（以下、再エネ電力）を「つくる」ことに加え、再エネ電力の「小売」、パートナー各社および関係先での再エネ電力需要をきっかけとした再エネ電力を「つかう」までを一気通貫で行い、再生可能エネルギーの普及に貢献します。

当行は「百五銀行グループSDGs宣言」の重点課題の一つに「地球環境・地域環境の保全」を掲げており、気候変動問題に能動的な貢献をめざします。

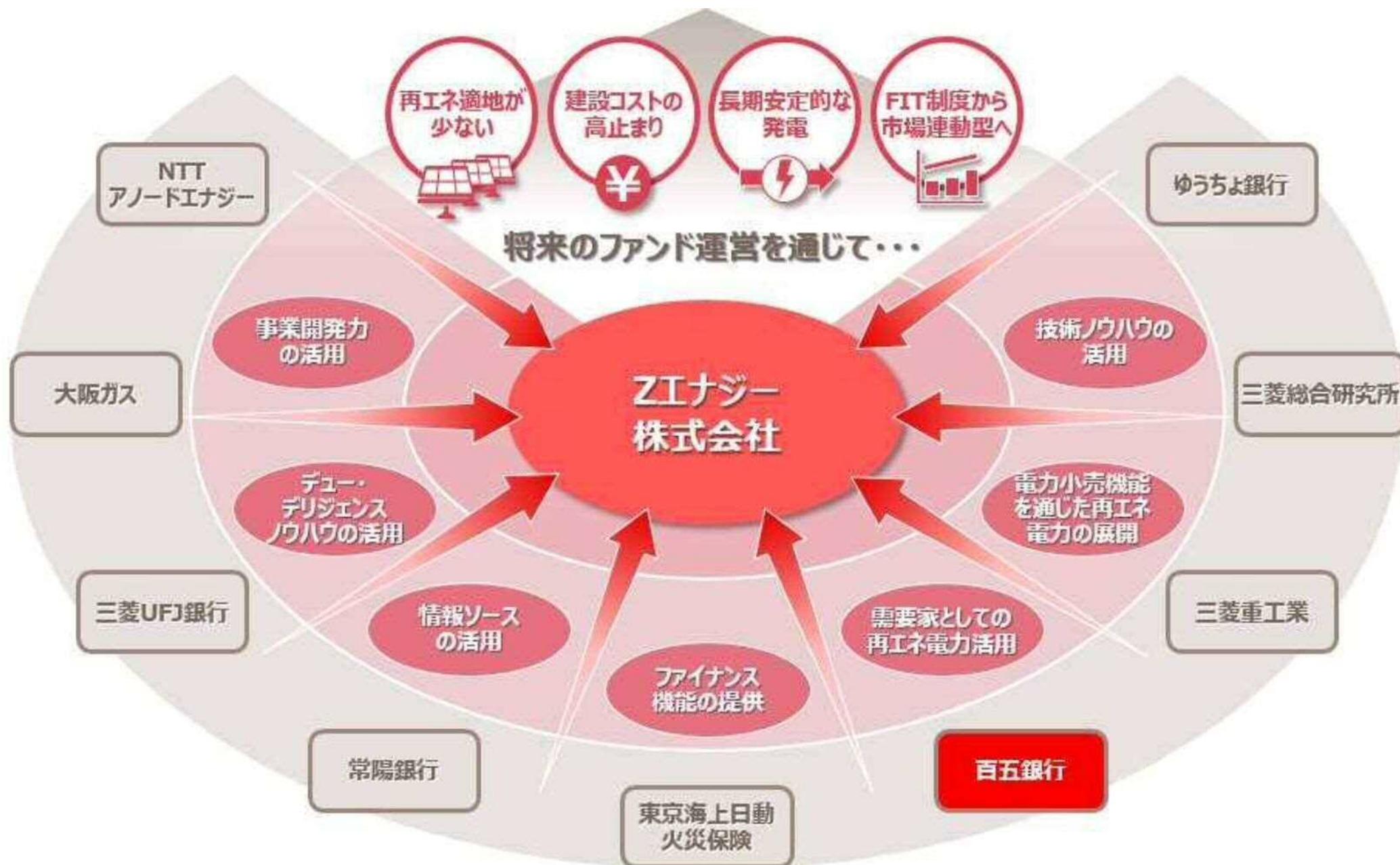
《ご参考》

これまでの主な環境保全への取組み

- 1999年6月、環境方針を制定し、2019年10月には「百五銀行グループSDGs宣言」の重点課題の一つに「地球環境・地域環境の保全」を掲げ、森林保全活動や、再生可能エネルギー関連融資の推進など、環境保全への取組みを積極的に進めています。
- 2021年6月、気候変動への対応が企業経営の大きな課題となっていることを踏まえ、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言に賛同しました。
- 2021年8月1日から、岩田本店棟（三重県津市岩田21番27号）で利用する電力をCO2フリー電気として脱炭素化への取組みを進めるとともに、電気料金収益の一部を三重県内の再エネ電源の維持・拡大に活用するなどの取組みを行っています。

以 上

# 再エネ普及・拡大にあたっての課題解決を実現



\*1 左上から反時計回りに、コアパートナー・パートナーの順かつ五十音順にて記載